様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	産業振興企画事務	コード	11401

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	工業振興課	作成者	仲田健二

3 事業概要				
目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
	政　策	基幹産業の振興	施　策	工業の振興
	予算科目	産業振興企画事務費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		基幹産業である工業（製造業）を軸として、商業、観光、農林業を含めた産業全般の振興を図る。
目的	対象者	市民（企業）
	意　図	産業全般の振興により、市内経済の活性化を推進する。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

１　岡谷市の産業振興を考える懇談会の開催
　岡谷市出身者等であって、首都圏、中京圏で活躍する企業経営者等と情報交換などを行い、産業全般の振興を図るとともに、企業誘致に向けた取り組みを行った。
　中京圏：　７月２８日　参加者２２名
　首都圏：１１月　４日　参加者４２名

２　岡谷市の産業振興を考える懇談会参加者の御柱祭への招待
　岡谷市の産業振興を考える懇談会への参加者のうち、岡谷市に多大な貢献をいただいている方を御柱祭へ招待し、懇談を実施した。
　期日：4月10日～11日　参加者２７名

３　中小企業都市連絡協議会への参加
　全国の中小企業が集積した７都市（岡谷市・川口市・大田区・墨田区・加賀市・東大阪市・尼崎市）の担当者が、中小企業振興施策について情報交換を行った。
　総会：5月26日～27日
　第１回連絡会議：7月14日～15日
　第２回連絡会議：1月26日～27日

４　第１０回中小企業都市サミット（尼崎サミット）への参加
　７都市の首脳（首長等）が一堂に会し、ものづくり中小企業が抱える現状や課題を整理するなかで、解決策等について議論を行い、「尼崎宣言」としてとりまとめ、中小企業庁へ政策提言を行った。
　期日：8月4日～5日

前年度の課題への対応	岡谷市の産業振興を考える懇談会（中京圏・首都圏）では、新規参加者もあり、更なる人脈の拡大が図られた。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位　人
実績値	67	70	64	
＊指標の説明	懇談会への参加者数（市側含む）			
② 成果指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位　人
目標値	53	67	70	64
実績値	67	70	64	
達成度	126.4%	104.5%	91.4%	
＊指標の説明	懇談会への参加者数			
＊目標値の設定方法の説明	前年度実績数			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	998,999	715,185	1,775,983	1,110,000
経常経費	81,667	82,182	88,095	0
臨時的経費	917,332	633,003	1,687,888	1,110,000
＊臨時的経費の説明	実施計画に基づく事業のため。（消耗品以外）			

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	7,200,000	7,200,000	7,200,000	7,200,000
正規職員の人数（人）	0.90	0.90	0.90	0.90
③ 合計コスト（①＋②）	8,198,999	7,915,185	8,975,983	8,310,000
前年度比		96.5%	113.4%	92.6%
財源内訳　一般財源	8,198,999	7,915,185	8,975,983	8,310,000
財源内訳　特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	108,682	104,031	113,876	
前年度比		95.7%	109.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
中小企業都市連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	50,000	50,000	50,000	50,000
中小企業都市サミット負担金	件数	－	－	1	－
	金額	－	－	274,000	－
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	50,000	50,000	324,000	50,000
	割合	5.01%	6.99%	18.24%	4.50%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　91.4%	1	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　91.4%	1	0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 岡谷市の産業振興を考える懇談会を更に充実したものとするために、新規参加者を増やすとともに、テーマの明確化、より深い議論を展開していくという課題がある。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 新規参加者の発掘に努めるとともに、時宜にあったテーマを設定し、産業振興を推進する。	
	改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B